

提出順	13	発言順	13	令和元年11月27日 午前・午後 11時55分受領
-----	----	-----	----	------------------------------

(2枚中No. 1)

令和元年 11月27日

安曇野市議会議長 召田 義人 様

安曇野市議会議員 小林 純子

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 元年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
	担当部長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	公共施設に関する市民ニーズや使用料の見直しについて		
質問の要旨 (具体的に記載してください) 公共施設の提供は行政サービスであり100%行政負担としたいところであるが、受益者負担の考え方でいかないと、市財政の中で公共施設の維持管理を行っていくことは困難である。安曇野市の公共施設の使用料については、合併して今日まで、消費税増税に伴う変更を除いては大きく変わっていないが、社会情勢、経済状況の変化等をふまえ、受益者負担のあり方について、施設を利用する人と利用しない人との負担の公平性等を考慮した見直しが必要な時期が来ている。 また、公共施設の利用状況から市民ニーズを見極め、不足している状況を補うための方策や、公共利用に供することができる施設の掘り起こしも必要と考える。 そこで、以下に質問する。			
1、公共施設の使用料設定に当たっての基本方針、その現状と課題について。 2、使用料の減額や免除の基準の見直しについて。 3、公共施設の利用状況から見えてくる市民ニーズについて。			

提出順	13	発言順	13	令和元年11月27日 午前・午後 11 時 55 分受領
-----	----	-----	----	---------------------------------

(2 枚中No. 2)

令和元年 11月27日

安曇野市議会議長 召田 義人 様

安曇野市議会議員

小林 純子

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 元年安曇野市議会 1 2 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 (                    )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input checked="" type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 (                    )		
質問事項	環境保全型農業の推進とオーガニック給食の取り組みについて		

質問の要旨（具体的に記載してください）

先の9月議会一般質問で安曇野市の環境保全型農業の推進・拡大について取り上げたところ、市としては支援策が十分浸透していないので、さらなる普及に力を入れていくとの答弁があった。環境にやさしい農業技術を広く普及する仕組みを作る、国の助成制度により環境保全効果の高い営農を支援する、エコファーマーの拡充、等々に取り組む等々が示された。

そこで、市も推進する環境保全型農業への関心を高め、取り組む農業者をふやすための後押しになるものとして、学校給食に有機無農薬米を導入することを提案する。給食を通じて地域の環境保全型農業・有機農業を活性化するという事は、とりもなおさず成長期の子どもたちにより安心安全な給食を提供するという事であり、これこそ食育の基本となる取り組みと考える。

そこで、以下に質問する。

- 1、安曇野市の学校給食の理念・目的から、有機無農薬栽培の農産品を使用したいいわゆるオーガニック給食についてどのように考えているか。
- 2、オーガニック給食の取り組みとして、まずは有機無農薬米を導入してはどうか。
- 3、給食に有機無農薬米を導入するにあたって、市農政やJAとの体制、連携について。